

医学・医療に関連する商業紙報道 見出し・概要 (平成22年8月1日～8月31日)

官公庁の医療政策		新聞	掲載面	掲載日
無利子奨学金 申請学生全員へ貸与	文科省方針。高校無償化に続く政策。予算の概算要求1330億円盛り込む。	山日	1面	8.30
医薬品 承認前でも保険適用	厚労省が新制度案 治験の省略認めた品目対象	朝日	4面	8.24
i P S臨床研究新指針改正案	厚労省 科学技術部会が了承。過剰な期待や不安による混乱を戒める前文を置いた。	読売	31面	8.24
看護師試験 病名に英語併記	E P Aの外国人受験支援 難解漢字 ふりがな	朝日	夕1面	8.24
医師不足対策 各地に拠点	厚労省が設置構想(「地域医療支援センター」仮称)	朝日	2面	8・22
年金支給一時停止	厚労省方針 医療保険利用ない不明者	毎日	26面	8.21
新種の細菌で注意喚起	(厚労省は都道府県に欧州の多剤耐性菌感染情報を医療機関に提供するように求めた。)	毎日	24面	8.21
高齢者新医療制度 都道府県単位で	財政問題、運営主体は検討課題として先送り。2013年度からの新制度導入を目指す。	読売	1面	8.21
医療費 35兆3000億円に	昨年度 70歳以上で44%占める	朝日	4面	8.17
子宮頸がん予防や医師確保	厚労省 特別枠1300億円要求へ	東京	3面	8.17
新たな高齢者医療制度	運営主体は都道府県 厚労省方針	信毎	2面	8.8
外国人介護士・看護師候補1000人に合格率1%、大量帰国の恐れも	経済連携協定(E P A)の候補者は今年6月までに998人が来日し、33人が資格取得をあきらめ途中帰国。日本の医療・介護分野で外国人を必要な労働力として位置づけるのかも不明確。	山日	3面	8.8
白血病治療 非血縁者の末梢血	厚労省は非血縁者の「末梢血幹細胞移植」の実施(10月)を了承。海外では白血病治療の主流。	読売	2面	8.6
「黒い雨」地域拡大も	厚労省 有識者会議設置へ	朝日	夕1面	8.6
国民年金 納付60%	09年度、最低更新	朝日	4面	8.6
経産省 病院とスポーツジムなどの連携支援	医療・介護分野の市場拡大を図る。病院と連携した民間企業新ビジネスの創出支援。政府の新成長戦略は、健康関連サービスで2020年までに25兆円の市場創出を打ち出している。	読売	夕1面	8.6
子宮頸がんワクチン助成	厚労省 来年度予算要求へ	朝日	4面	8.5
介護保険制度改正 11月にも改革案	在宅生活のための新サービス(24時間巡回訪問等)の導入、制度維持のための財源確保が柱。	読売	3面	8.1

大学の運営

国連大学、名実とも「大学」に	青山の本部ビル 9月から修士課程 5学生入学	朝日	38面	8.31
元教授、補助金不正使用(大阪大)	架空発注などで1731万円	毎日	26面	8.21
教授4人を懲戒処分 (鹿児島大歯学部)	卒業試験採点ミスで	毎日	26面	8.21
山形大 個人情報入りのパソコン盗難	医学部付属病院。患者5747人分の個人情報が入っていた。	読売	25面	8.14
大学特許 稼ぐ種に	国内初の知財ファンド、設立発表 産業革新機構 外資の職種を牽制	朝日	9面	8.7

眠る大学特許 集めて売り込め	(官民でつくる産業革新機構などが)医療特化の知財ファンド 来月末にも誕生	朝日	1面	8.4
----------------	--------------------------------------	----	----	-----

病院の経営

肺がん治療実績アンケート	全国主要医療機関対象。手術では「区域切除」が増加。定位照射(保険適用)は実施施設が増え、早期肺がんの5年生存率は手術とほぼ同等。抗がん剤に対する遺伝子検査は保険適用。	読売	24面	8.8
皮膚細胞で作る人口心臓大動脈弁 ヤギの心臓で移植成功	国立循環器病研究センター。皮膚細胞の再生力に着目し、大動脈弁の型をヤギの背中に埋め込み作製後移植。心臓弁膜症で、人口弁がつかえない子どもなどの治療に道を開く成果。	読売	32面	8.8

再生医療

脊髄損傷マウス回復 奈良先端大など	幹細胞と薬で神経再生 (米科学誌「ジャーナル・オブ・クリニカル・インベスティゲーション」掲載)	東京	26面	8.17
i P S (細胞)使わずに心筋細胞作成	慶大教授ら、マウスで成功 (米科学誌セル電子版に発表)	朝日	30面	8.6

臓器移植

家族承諾 脳死移植4例目	法改正前の脳死移植は年10例程度、改正後は3週間で5例の脳死移植。試算80例を超えそうだ。	読売	30面	8.30
家族承諾のみの脳死臓器提供	反対論も根強い臓器移植の定着には社会が納得できる情報提示の仕組みが早急に必要。	読売	12面	8.25
家族承諾で3例目臓器提供	家族は本人と臓器提供の話をしたことはないが「誰かの役に立てたい。」と話す。	山日	18面	8.23
臓器提供 続く手探り	拒否の確認 限界 遺族のケア急務 提供ペース増も	朝日	3面	8.20
家族承諾で2例目移植	家族の承諾のみで臓器提供が行われ「日本も世界水準になった」と評価の声がある一方、国民の知る権利「現場で何が起きているか」を阻害する情報不開示は問題だとの批判もある。	山日	26面	8.20
子の心臓は子に	「優先移植」厚労省班が案 脳神経外科学会 脳死判定支援 各地にチーム	朝日	25面	8.12
(改正臓器移植法)初事例 失敗許されぬ	家族の承諾のみ 移植医ら準備急ぐ	朝日	30面	8.10
家族「本人の意思尊重」	男性「万が一の時は提供していい」 移植ネット 伝達時期、未確認 「国民理解深める機会に」	朝日	2面	8.10
移植ネットワーク「新たな一歩」	日本臓器移植ネットワークに登録する患者は、心臓176人、肝臓266人。移植経験者から評価の声がある一方、提供する家族のケアや家族の同意で移植できることに疑問の声もある。	読売	31面	8.10
脳死臓器提供 本人の意思表示なしに	移植学会は年間30～80例に増と予測。家族承諾の手続きがどのように行われたのか検証が必要。	読売	3面	8.10
改正臓器移植法施行後初の適用 家族の承諾で臓器提供	交通事故で入院中の20台男性。生前に書面は残さなかったが、口頭で家族に臓器提供の意思を伝えていたという。改正法(09年7月成立)前の移植は13年間で86例にとどまっていた。	読売	1面	8.10
虐待判定に支援組織	子どもの臓器提供 (日本子ども虐待医学研究会 - 小児科医、小児救急医らの研究会)	朝日	2面	8.1

予防医学

肺がん検診の功罪	主要国では実施していないが、日本ではX線とたんの中のがん細胞との組み合わせ検診は国が推奨	読売	16面	8.30
遺伝性乳がん検査 体制の不備	検査を行う医療機関の7割でカウンセリング体制がなく、受診者を不安にさせる恐れがある。	読売	32面	8.29
子宮頸がん検診 対象年齢は?	英国では対象年齢を20歳から25歳以上に引き上げ、日本では20歳へと引き下げた。	読売	16面	8.27
企業健診 うつ兆候チェック	医師の問診にうつ病などの兆候である不眠や頭痛の有無を盛り込み、所見があれば専門医が診断。	読売	1面	8.17

アルツハイマー 食べるワクチンで予防	ピーマンを食べると予防効果がある。東京大教授らがマウス実験で確認。米科学誌に発表。	読売	夕2面	8.16
ワクチン助成を弾みに	子宮(頸)がん予防	信毎	3面	8.23

感染症

インフルワクチン 鼻に噴霧	臨床研究 10月から	朝日	38面	8.31
感染力、通常と変わらず	タミフル耐性ウイルス 東大医科研が動物実験 (米科学誌プロス・パソジェンズ電子版に発表)	朝日	夕18面	8.27
強毒カビ 国内初の感染例	北米への渡航歴なし 日本定着の可能性	朝日	37面	8.24
多剤耐性菌、どれくらい怖い?	多くの抗菌薬が効かない。院内感染が心配だね。	朝日	2面	8.24
多剤耐性細菌、欧州に拡大	インド・パキスタンで感染 抗生物質 大半効かず 医療ツアー助長か (英医学誌ランセット掲載)	朝日	夕8面	8.17
感染流行の兆し すぐ把握	保育園が情報入力 ネットで共有 (国立感染症研究所がシステム作成)	朝日	夕1面	8.17
バリ島 狂犬病で2年間に死者78人	バリ島の60万匹いる犬のうち76%は野犬。大規模にワクチン接種を始める計画。	産経	2面	8.15
あらたなエイズ患者数 過去最多	3ヶ月間で129人。統計を取り始めたのは1985年、4年ぶりにエイズウイルス母子感染も確認。	読売	25面	8.14
「はしか」...実は「リンゴ病」	(血液検査では)「誤診」の恐れ 感染研「ウイルス検査を」	毎日	1面	8.8

新型インフルエンザ関連情報

ワクチン接種で13%ヒヤリ経験	新型インフルエンザ流行の現場での看護師調査。「ワクチンの量を間違えた」88%など。	山日	7面	8.30
新型インフル大流行 東大教授ら解明	アミノ酸が1ヶ所変わっただけで... (米科学誌プロス・パソジェンズに発表)	朝日	29面	8.6
豚+鳥=新型インフル大流行?	東大医科研「遺伝子交ざりやすい」(米ウイルス学会誌電子版 発表)	朝日	33面	8.5

産科・小児科

生殖医療 もっと議論を	49歳の妊娠に思う 不妊治療経験者ら すごい執念 医療者 高リスク 卵子提供の法整備急務	朝日	23面	8.31
卵子提供 法律や基準未整備	一部の医療機関では友人、姉妹からの卵子提供も認める独自指針で体外受精を進めている。	読売	35面	8.27

治療法・薬

骨粗しょう症治療薬「テリパラチド」	従来の薬剤と異なり骨折の予防に強力な効果が期待される新たな薬。	山日	7面	8.30
新薬 のしかかる負担	増える開発費 患者ら悲鳴 血液難病 年4500万円	毎日	1面	8.29
副作用少ない風邪薬へ新技術	(「米国化学会誌」電子版に発表)	朝日	8面	8.24
早期肺がんの「ラジオ波治療」	体の外からがんに電極針を刺して焼く。肝臓がんでは保険がきく一般的な治療。	読売	18面	8.23
早期肺がんの放射線治療	「定位照射」は体力低下の高齢者も受けやすい。呼吸に合わせ照射する。保険診療。	読売	17面	8.2
気管支の早期肺がんをレーザー治療	光線力学的治療。光線に反応する薬剤にレーザー光線を当て化学反応でがんを破壊。	読売	15面	8.18
ジェネリック3品目「不適合」	厚労省の品質検査で流通する531品目のうち3品目が体内で溶け出す基準を満たさなかった。	長日	5面	8.20

統合失調症治療薬「クロザピン」	症状に改善が見られる。副作用の心配から患者、医療機関、医師、薬剤師等登録制。	山日	8面	8.16
診療報酬加算でジェネリック市場拡大	外資系や大手が参入。富士フィルムファーマは異業種からの参入。	産経	3面	8.15
人前で緊張「社交不安障害」	世界で10人に1人が悩んでいるとされる。治療は薬物療法か認知行動療法のどちらかを行う。	読売	14面	8.1
後腹膜に「神経鞘腫」	神経にできる良性腫瘍。整形外科で画像検査、組織検査を受け正確に診断してもらう。	読売	14面	8.1

医療事故・訴訟

東京女子医大 病院報告書は誤り	2001年の心臓手術で女兒が死亡した事件。病院作成報告書は重大な誤りと地裁が認定した。	読売	36面	8.25
-----------------	---	----	-----	------

公害

山梨県立旧射撃場の散弾 大量放置	旧県立射撃場近くの釜無川河川敷の土壌への鉛の溶出量は環境基準の120倍。土壌中の鉛含有量は環境基準の173倍。環境省の鉛の健康被害ガイドラインでは発がん性も示唆している。	読売	33面	8.21
中国の重金属汚染 爆発期に	NG 報告書「日本の70年代と同じ」	東京	26面	8.17
黄砂 子どもの健康に深刻な影響	黄砂が飛来した日はぜんそくの発作で入院するリスクが3倍以上。米国胸部疾患学会で発表。	読売	29面	8.10
臭素系難燃剤 猛禽類に蓄積 研究グループ 悪影響懸念	愛媛大と栃木県立博物館のグループが発表。環境中に出た難燃剤が食物連鎖を通じ蓄積したらしい。ひなのふ化率低下等に影響。汚染実態が種によってはかなり深刻。	山日	3面	8.8

介護

介護老人保健施設 退所後を見据えて	病院から自宅に戻るまでの期間等に一定期間入所してリハビリを受ける施設。3～6ヶ月が目安。	読売	16面	8.27
動物ロボ 介護現場で活躍	癒やし効果 検証進む 個性 飼い方次第 ペット扱いの日本	朝日	22面	8.24
ロボスーツ「HAL」でリハビリ支援	「HAL」は全国37施設で導入。つらいリハビリにも希望が持て、ロボットを使う楽しさも大きい。	読売	33面	8.20

地域医療

県病院会計 赤字改善(千葉)	赤字額が13年ぶりに10億円を下回る。	読売	31面	8.31
新型インフル対策本部廃止(千葉)	千葉県、相談窓口など継続	朝日	29面	8.31
はしかワクチン接種伸び悩み(山梨)	危機感が薄れ、昨年は13歳が83.4%、18歳は79.6%で、目標の95%を大きく下回る。	山日	1面	8.30
峡南医療問題(山梨)	鰍沢病院の存続が難しいならば、病院同士の連携で2次医療を確立することが大事。	山日	16面	8.29
茨城の病院で結核集団感染	医師・看護師ら	朝日	34面	8.22
流動食をフランス料理風に(千葉)	NPO法人「医療・福祉ネットワーク千葉」が「ケアフード」紹介。Http://www.medicalwel.com	読売	29面	8.20
全国初の院外助産院(岡山) 病院と連携、230人が産声	誕生から4年。医師不足で分娩中止になった病院の助産師が「地域のお産を守ろう」と独立。	山日	13面	8.20
東金九十九里医療センター	評価委が独立行政法人設立に必要な中期計画を承認。業務方法書案、役員報酬案も提示。	千日	16面	8.19
がん治療向上目指しNPO設立(千葉)	病院連携深め格差是正を	朝日	28面	8.17

がん診療向上へ連携(千葉)	県内13病院 今月にも臨床支援NPO(「千葉がん臨床支援機構」) 全国初 専任置き研究・調整 製薬会社などが賛助会員で寄付	朝日	33面	8.15
妊婦健診 完全無料化求める声(山梨)	8万4千円で全国平均を約7千円下回る。国は約11万円分を市町村に地方交付税や補助金で交付。	山日	1面	8.14
医療機関別 肺がん治療実績(山梨)	読売新聞アンケート調査。肺がん発症の喫煙者リスクは5~10倍、予防には禁煙が第一。	読売	29面	8.8
医療機装着ミス(大阪)	看護師書類送検 業務上過失致死容疑	朝日	30面	8.7
聖隷佐倉市民病院(千葉) 放射線治療科を開設	今春完成した手術棟に全国10機目、県内初の最新型放射線治療システム(米国バリアン社)の 臨床使用を開始する。がんの形に合わせ照射できる強度変調放射線治療(IMRT)。	千日	16面	8.1

医学・医療・科学情報

5月末からの熱中症死亡者158人に	総務省消防庁の調査。	読売	夕12面	8.31
精神疾患も障害年金の対象	障害年金の受給者は約185万人。障害者は約700万人で精神疾患で受給していない人が多い。	読売	夕4面	8.31
前立腺がん PSA検診	「PSA監視療法」で、死に直結しないがんと、治療すべきがんを見分ける。	読売	14面	8.31
女性は夏もタンパク質を取ろう	栄養不足にも注意。良質な油(生の魚料理、クルミ等ナッツ類)やアミノ酸も取ることが大 事	長日	6面	8.30
先端巨大症 難病指定で治療環境整う	脳下垂体の腫瘍が原因。手術で9割が根治。顔つきが変化等発症サイン見逃さないで早期治療を。	山日	7面	8.30
腎臓病患者の食事に効果	低タンパク米「ゆめかなえ」。千葉県立保健医療大でタンパク質吸収率の低さを実証。	山日	7面	8.30
仁丹救うカプセル技術	森下仁丹、意外な進化 液体型開発 試行の末 ワクチン、シロアリ駆除にも応用	朝日	6面	8.30
白米・玄米と糖尿病	(糖尿病に対する白米と玄米の影響を調べた米国の研究 内科学アーカイブス6月掲載)	朝日	夕3面	8.30
子どものいびき	睡眠時の呼吸で手術判断 (滋賀医科大睡眠学講座: http://www.sasjp.net/)	朝日	夕3面	8.30
薄毛の悩み、女性にも	原因が多様で研究も遅れている。洗いすぎと乾燥は大敵。20代の髪「細い」印象も。	山日	11面	8.30
やせたいなら...食前に水	米バージニア工科大が発表 満腹感で高カロリー敬遠	朝日	10面	8.30
所得税の仕組み	今は税収減で、財源の役割が弱まる。必要経費を除く収入に課税。富を再分配し、税率は6段 階	読売	13面	8.26
向精神薬 違法売買	08年向精神薬の譲渡などで計50人が摘発、6万1507錠が押収。ネットの掲示板が温床。	読売	37面	8.26
延命治療に向き合う医師	患者が元気なうちから、最後をどのように迎えるか家族と話し合いを重ねる。	読売	20面	8.25
尊厳死と胃ろう拒否	寿命がきたら延命治療は避け、平穏に死にたいと考える人が多い。	読売	16面	8.24
髪の毛で体内時計のリズム測定	山口大のチーム。髪の毛を抜き根元の新鮮な細胞で測る。(米科学アカデミー紀要に発表)	読売	2面	8.24
生きた細胞で「におい」をかぎ分ける	東大で世界初のセンサー。(米科学アカデミー紀要電子版 掲載)	読売	夕2面	8.24
優性遺伝 新たな仕組み発見	奈良先端科技大など (英科学誌ネイチャーに掲載)	朝日	22面	8.24
「日本人ゲノム」標準配列作製へ	文部科学省の研究班 略称「ゲノム支援」)	朝日	22面	8.24
「科学技術コミュニケーター」養成	「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」を目指し、橋渡し役となる。	読売	16面	8.24

違法薬物 入手方法はネットが多い	大麻所持で摘発された未成年は234人と全検挙者の1割弱。ゲームサイト等にも薬物情報が並ぶ。	読売	32面	8.23
がんを患う妻を自宅で看取る - 基礎研究重要 -	難治がん小細胞肺がんだったが、こうしたがんに打ち勝つには、迂遠なようでもがんの基礎研究が重要。国のがん対策推進基本計画は2012年に見直される。多くの患者が願う在宅療法や、残された遺族の悲嘆の研究、グリーフ・ケアに関する視点も積極的に取り入れることが必要。	読売	1・2面	8.23
高額化するがん医療費。解決策は？	未承認薬の保険適用を 全患者を登録 治療評価	毎日	5面	8.23
製薬大手各社ワクチン事業に乗り出す	新薬の特許切れに替わり新たな収入源。予防重視の動きや政府の補助金方針等も後押し。	読売	7面	8.23
「高額療養費制度」を使いこなす	入院時には「限度額適用認定証」の交付で窓口支払額を自己負担限度額にすることができる。	読売	15面	8.22
心の病 抱える従業員	企業44%「増加傾向」	朝日	5面	8.22
病気腎移植「先進医療」申請へ	徳洲会 24日に第三者間5例目	毎日	24面	8.22
不況のストレス、生活習慣悪化？	人間ドックを受診し「異常あり」という結果が出た人は90.5%。過去最高を更新。高かった項目は高コレステロール、肥満、肝機能障害と続く。	読売	2面	8.22
中国人の米国留学組、培った人脈で 両国を結び付ける	遺伝学のティエン・シュイ博士は「エール大学教授」と「復旦大学生物学研究所長」の肩書きを持つ。米国での博士号取得の出身大学別ランキングは精華大と北京大が1位と2位。	読売	1面	8.22
人口減にどう向き合う	出生率低下は制度の失敗だ 高齢者の生活コスト引き下げを 若年層にひかりを	毎日	10面	8.21
「医療ツーリズム」国策として議論	医療を産業として考える一歩。医療の社会保障面と産業面のバランスが今後の政策課題となる。	読売	13面	8.21
性被害 病院に対応拠点	相談、診療、証拠保存を一元化 韓国手本「まず安心の環境」	朝日	26面	8.19
米の若者 5人に1人難聴気味	20年で3割増、携帯音楽プレーヤー注意喚起	東京	夕8面	8.18
がん攻撃指示 細胞を活性化	北大など「効果確認」	朝日	26面	8.18
明治乳業チーズ23万個回収へ	(ナチュラルチーズの一部製品に金属片混入の恐れ)	東京	26面	8.17
H I V感染者 障害者雇用広がる	1998年から「免疫機能障害者」として身体障害者手帳を取得。理解や予防啓発に期待。	読売	19面	8.17
練馬38.1 3年ぶり、都内今年初	熱中症続出 埼玉で2人死亡 都内は5人重症	東京	26面	8.17
消えぬ「食への不信」 少ない情報 募る不安	「赤ちゃんの胸膨らむ」中国粉ミルク疑惑 残存ホルモン原因説 当局、関係否定するが日本人も人ごとじゃない!? (日本の残存ホルモンは)行政のチェック制度なし	東京	24面	8.17
発酵乳の摂取で皮膚の乾燥抑制	20代から70代の女性約40人で実験。ヤクルト本社中央研究所が発表。	山日	8面	8.16
中高年のウォーキング 水分多めに	滋賀県立大の調査。若い世代の1.7倍の水分補給が必要。	読売	夕11面	8.16
ベーチェット病 発症遺伝子特定	横浜市立大などの研究チーム。日本、韓国、トルコの患者らのゲノムを調べた。	山日	8面	8.16
心臓血管系の病気 7時間睡眠で脱危険	1日の睡眠時間が7時間より短くても長くても病気になる危険性が高まる。(米ウエスト大)	山日	8面	8.16
心臓のバイパス手術に第3方式 執刀の負担も軽減	冠動脈のバイパス手術は人工心肺装置を動かさず、拍動したまま「オフポンプ」で行う2方式がある。仙台厚生病院では、第3の方法、拍動を維持しつつ循環を補助する「ミニポンプアシスト(補助)方式」が始まっている。	山日	8面	8.16

法医解剖システムは10年後に崩壊する	力士暴行死事件で死因究明が注目されるが、大学には重荷。「行政の仕事だ」との声もある。法医は開業の道もポストも少なく人材確保が難しい。異常死解剖率は先進国最低の10%。死因究明が国民の安全や健康の維持、遺族の権利を守る公共サービスだと、国が説明すべき。	読売	3面	8.16
異常死究明する法医解剖 限界に 読売新聞アンケート調査	監察医制度のある東京23区、横浜、名古屋、大阪、神戸を除き、大学が担う。解剖医1人で年間100件以上の大学は10校あり、秋田大では284件の解剖をしていた。	読売	1面	8.16
ホメオパシー療法って？	病気と似た症状づくり治療 自然治癒力利用 効果に疑問も	毎日	3面	8.15
「頸椎後縦靭帯骨化症」はどんな病気 ですか？	背骨をつなぐ靭帯が骨に変化する。原因不明で日本人の約3%に見られる。症状が痛みだけなら、消炎鎮痛剤等を使い安静にする。痛みやしびれが続くならば手術の必要もある。	読売	18面	8.15
ぶどう膜炎 点眼薬でなおらない	ぶどう膜炎は「虹彩」「毛様体」「脈絡膜」等の炎症の総称。他の病気を疑い血液検査など全身の様々な検査をすることも必要。炎症を抑えることはできるので、投薬方法の再検討も。	読売	18面	8.15
高齢者不在問題 平均寿命に影響なし	厚労省は、国勢調査結果を使う平均寿命には高齢者不在問題の影響はないとした。	山日	27面	8.14
完全埋め込み型「人工聴覚機」開発	京大などが開発し動物実験に成功。3年後に字との臨床研究を始める予定。	読売	25面	8.14
うつ病解明、治療薬開発に期待 神戸大教授(生化学)ら米神経学会誌に	脳の神経細胞にあるタンパク質「SIRP」は別のタンパク質「CD47」と結合、リン酸化し、ストレスから脳を守る。今後、リン酸化が脳を守る仕組みを解明する。	山日	10面	8.14
サルも「反省」している？ 何もしていない時は「内的思考」中か	人はとりとめもなく考える「内的思考」時には脳内に「デフォルト活動」がおきている。サルも人間と同様の脳活動があることが京都神経科学総合研究所の実験で確認された。	山日	10面	8.14
ロボットの触覚 操る人の手に 手術支援へ慶応大が開発	鉗子(ピンセットのような医療器具)に伝わる感触が医師の手に伝わる内視鏡手術・診断の支援ロボット。臓器を傷つける操作ミスを防ぐため、かけている力を20倍に感じる仕組み。	山日	10面	8.14
手軽な遺伝子検査ビジネス 危険？	がんやアルツハイマーのリスク、子どもの「才能」等。日本遺伝子学会や専門医は、「利用者に大きな誤解と不安を与える恐れ」を指摘し、公的機関の監督を求め、消費者に警鐘を鳴らす。	読売	1面	8.14
虐待かも...生かせず	小児歯科医 疑っても通報1割弱 教員 性的虐待では半数 確証なくても通報義務	朝日	夕1面	8.13
胃粘膜修復の酵素突き止める	都臨床医学総合研究所等の研究チーム。米学術誌プロス・ジェネティクスに発表。	読売	夕2面	8.13
心筋梗塞 気づかぬ兆候	厚労省研究班 治療まで平均3.9時間	朝日	夕1面	8.7
がん患者 生存率調査に壁	「個人情報」理由 生死確認難しく 院内登録07年32万件 精度向上へ協力必要	朝日	26面	8.5
1940年 食の統制「国民食」	衣の統制「国民服」に続き、食にもと「食料報国連盟」が栄養学に基づく国民食を制定。	読売	17面	8.5
事故等で頭部に衝撃 「軽度外傷性脳損傷」とは？	3ヶ月～1年で回復するが、患者の30%が様々な症状に苦しみ、9%は1年後も社会復帰できない。CTやMRIで傷がわからず放置されがち。日本での認識は低く、患者の苦しみと社会的損失は甚	読売	16面	8.5
適用外薬の保険適用を求めて	国際的に認められた薬が国内で認められるまでに生じる遅れ(ドラッグ・ラグ)への対策と課題。	読売	11面	8.3
日本全国の人口 3年ぶりに減少	前年比1万8323人減の1億2705万7860人。人口増加トップは東京都。増加率トップは沖縄県。	読売	2面	8.1

本の紹介

加速する肥満	なぜ太る - 人類の歴史から考察 (N T T 出版)	信毎	12面	8.1
--------	-----------------------------	----	-----	-----

注記 1．信毎：信濃毎日新聞 千日：千葉日報 長日：長野日報 山日：山梨日日 夕：夕刊(その他の無記載は朝刊ないし日刊)
2．著作権上、見出しのみ掲載できる場合は、 印の後に記載しております。 3．掲載見出しに補足した場合、補足部分を()で記載しております。
4．読売新聞、産経新聞の見出しは著作権等があり掲載記事の見出しとは異なるように配慮しております。 5．日本経済新聞、秋田さきがけ、河北新報の記事は著作権等があり掲載しておりません。 6．同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないしは早い日付で報道されたものを掲載するようにしております。また、著作権を問題としない商業紙を優先し掲載しております。